科目名	地理B	履修学年	第３学年
		履修形態	選択
		履修単位	４単位
使用教科書（出版社）	地理B（東京書籍）		
使用教材（出版社）	高等地図帳（二宮書店） 最新地理図表 GEO （第一学習社）		

学習の目標

①現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
②現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
③地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

教科担当者から

英語を学べば世界の人と会話ができる。家庭科を学べば生きる術と知識が得られる。地歴公民科の場合はどうでしょうか。担当者は「いま、いったいこの世界の何が問題なのか」を知ることができるという魅力がある、と思います。得られるものは、すぐに役立つ解決の「方法」ではないかもしれません。しかし、この未完成で発展途上の人間社会を見渡したときに、私たちや世界の人々を苦しめるたくさんの「問題」…例えば環境問題、民族問題、経済格差など…これらの問題はいったいなぜ起こってしまったのか。私たちは、この世界と私たちの暮らしをほんの少しでもましなものにするために、何をしていくべきなのか。地理Bは、世界各地の自然と社会の様子をみながら、そのもとでつくられてきたこの世界の姿を明らかにしていく科目です。ここから、世界を見渡す力を養っていってください。

評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
規準	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	
方法	※　◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎				
ノート	◎	○			
課題	○	◎	◎	○	
小テスト		◎	○	◎	
考査		○	◎	◎	
割合	10%	20%	20%	50%	

評価の基準　※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
100点～85点程度	84点～65点程度	64点～45点程度	44点～30点程度	30点未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 関	思	資	知		時間
		第１編　さまざまな地図と地理的技能							
	4	第１章　地理情報と地図	私たちが住む現代世界の地理的事象をとらえるため地理的技能を身につける。生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解する。気候環境を形成する大気の大循環を前提に、地域によって生じる気候の違いとその要因について理解する。また、以上の内容を説明できるようにする。	○		○			6
	5	第２章　地図の活用と地域調査		○	○	○			
		第２編　現代世界の系統地理的考察							
	5, 6	第１章　自然環境							18
		１　世界の地形				○	○		
		２　世界の気候				○	○		
		３　世界の環境問題		○	○	○	○		
		（含：前期中間考査）							
	6	第２章　資源、産業							20
		１　産業の発展と産業地域の変容	産業全体の変容と産業地域の変容について理解する。各産業に分けて立地条件や地域の特性とその変容を世界的視野から考察する。産業発展に伴う資源・エネルギー問題、食料問題について理解する。また、以上のことを説明できるようにする。		○		○		
		２　エネルギーと鉱産資源産業の立地と変容			○		○		
		３　農業の立地と農業地域の変容			○		○		
		４　工業の立地と工業地域の変容			○		○		
前期		５　流通・サービス産業				○	○		
		６　消費行動と消費関連産業		○		○	○		
		７　資源・エネルギー問題		○		○	○		
		８　食料問題							
	7	第３章　人口、都市・村落							21
		１　人口	人口の分布や推移などの世界的な傾向、人々の居住や社会生活の場である都市や村落の機能と形態について、その変化にも注目しながら考察するとともに説明できるようにする。		○		○		
		２　都市・村落			○		○		
		３　人口問題		○	○	○	○		
		４　居住・都市問題		○	○	○	○		
	8, 9	第４章　生活文化、民族・宗教							13
		１　生活文化	人々が生きていくのに欠かせない食事や住居、言語や宗教などの文化について、世界的視野から考察し、空間的な規則性をとらえる視点を身につけるとともに説明できるようにする。	○		○	○		
		２　民族・言語・宗教		○		○	○		
		３　民族問題・言語問題		○	○	○	○		
		４　領土問題		○	○	○	○		
		（含：前期期末考査）							
		第３編　現代世界の地誌的考察							
	10	第１章　現代世界の地域区分		○	○	○	○		2
	10	第２章　現代世界の諸地域							32
		１　中国		○	○	○	◎		
		２　日本と韓国		○	○	○	◎		
	11	３　東南アジア		○	○	○	◎		
		４　インド		○	○	○	◎		
		５　西アジア・北アフリカ		○	○	○	◎		
		（含：後期中間考査）							
	12	６　サハラ以南アフリカ	広域、多様性に富んでいる現代世界の地域区分を行い、場所ごとの違いをまとめていくことによって、諸事象の地域性を明らかにし、全体像の理解を深める。さまざまな規模の世界の諸地域について、歴史的背景を踏まえながら、多面的・多角的に考察する。地域的特色や地域的課題の理解を深めながら、地誌的な考察方法を身につける。地球規模の視点から日本の国土を多面的・多角的に考察して、日本が抱える地理的な諸課題を探求し、その解決の方向性や将来の国土の在り方について展望する。また、以上のことを説明できるようにする。	○	○	○	◎		
		７　ヨーロッパ		○	○	○	◎		
		８　ロシアとその周辺諸国		○	○	○	◎		
		９　北アメリカ		○	○	○	◎		
後期		１０　中央・南アメリカ		○	○	○	◎		
		１１　オーストラリアとカナダ		○	○	○	◎		
	1	第３章　現代世界と日本		○	○	○	◎		8
		（含：学年末考査）							
									120